



東電福島第一原発事故の原因究明なし
に再稼働ありきは論外

日本共産党 大名美恵子 議員

議員 停止中の原発の再稼働について、再稼働条件となる安全評価（ストレステスト）の1次評価に関して、原子力安全委員会の斑目委員長が「安全性の評価としては不十分」と発言したことを受け、藤村官房長官は「再稼働は総合的に政治が判断する。斑目氏も1次評価で再稼働を判断する政府方針を否定しないと言っている」と述べた。

断であり得る」などの発言は論外。政府は事故原因の究明を徹底的に行うべきである。この発言をどう受けとめたか伺う。

村長 いまだに福島原発事故の原因究明が明らかにされず、事故を起こした責任問題も不問にされたままである。そして政府の“限りなく原発依存を減らしていく”という減原発政策、総体としての日本の原子力政策が明らかにになっていない、工程表も見えない。例えば原子力規制庁をつくることについても定まっていない。原子力の安全を守るための措置が明確にされていない中で「再稼働については政治判断もあり得る」というのはいかがかなと。まずはそういうことをきちんとしていただくといは言いたい。

議員 定検終了後、地元の意見を求められるまでの期間はどのくらい要すると考えられるか、また、地元としての村の判断の基準について考えがあれば伺う。

村長 6月には燃料の装荷をするとの話が届いている。燃料装荷をするという事は、再稼働への意思表示になると思うので、これは断固、拒否しなければならぬと思っております。

東海村の意見を最大限重視してもらいたいと同時に、県央地区の「首長の意見を聞いてくれ」というようなことも要求されている。東海村だけのことを考えて判断するというわけにはいかないというような客観的な情勢が今や生まれてきていると思う。

希望者には被ばく健康調査を
議員 新年度村政説明では、「幼児や子ども、妊婦さんなどへの影響防止は重要になっており、関係する方々の気持ちに寄り添った対応が求められている」、また「原子力に携わった経験や知識を持った方の協力を得ながら村民の放射線などの基礎知識について理解促進に取り組みます」とある。希望者には健康調査を実施すべきではないか、また放射線について幅広く学ぶために被ばく治療にかかわった医師や看護師などの協力もお願いしてはどうか考え方を伺う。

また「原子力に携わった経験や知識を持った方の協力を得ながら村民の放射線などの基礎知識について理解促進に取り組みます」とある。希望者には健康調査を実施すべきではないか、また放射線について幅広く学ぶために被ばく治療にかかわった医師や看護師などの協力もお願いしてはどうか考え方を伺う。

議員 さまざまな角度からの情報提供、これが行政としては大事である。幅広く学んで放射線の知識を住民が身に付けていくことができるための情報提供、ぜひその姿勢を大事にしていきたい。

健康調査について
は、まだ村に健康調査についての意見、要望等は1件も入っていない。今後、健康調査関係の要望が出てきたら、その時点で対処していきたい。

また、医師などの協力を得る件については、一般の住民の方からこういう問題があるのでこういう先生をお願いしたいと要望があれば、それには対処していきたいと考えている。

議員 さまざまな角度からの情報提供、これが行政としては大事である。幅広く学んで放射線の知識を住民が身に付けていくことができるための情報提供、ぜひその姿勢を大事にしていきたい。

また「原子力に携わった経験や知識を持った方の協力を得ながら村民の放射線などの基礎知識について理解促進に取り組みます」とある。希望者には健康調査を実施すべきではないか、また放射線について幅広く学ぶために被ばく治療にかかわった医師や看護師などの協力もお願いしてはどうか考え方を伺う。

